2026.04.01

SDGsへの取り組み (K-BIT)

持続可能な開発目標（SDGs）



持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。





技術革新と品質の向上

自社開発のソフトウェアやクラウドサービスで社会課題を解決し、効率的で洗練された社会を実現していきます。
顧客満足度向上のため、作業の標準化、品質管理を推進し、お客様の事業の一助を担う安心安全なサービスをご提供いたします。

システム開発における情報セキュリティ管理を徹底する「ISO27001」認証の取得と維持管理で安心安全な構築に向けた取り組みを整えています。

プライバシーマーク(Pマーク)の認証と維持管理にて、個人情報の適切な保護措置を講じる体制と環境を整えています。

【目標①】<u>機密情報の電子化率向上</u>

数値目標: 契約書や社内申請書の電子化率を
前年比20%増（または100%達成）にする(ワークフローシステム導入)。

備考: 紙の消費を抑え（資源保護）、かつ物理的な
紛失リスクをゼロにする（セキュリティ強化）。

【目標②】<u>個人情報関連のインシデント・ゼロ</u>

数値目標: 個人情報漏えい・紛失事故件数 0件。

備考: 事故対応にかかる無駄なエネルギーや資源（システム改修、紙の通知発送など）を発生させない、効率的で責任ある生産活動の推進。



IT業界団体との連携を通じた技術革新の追求を続けています。

【目標③】<u>下記加入団体の研究会などへの活動参加</u>

・FSA（富士通系ソフトウェア業グループ）
・SAJ（一般社団法人ソフトウェア協会）
・大阪商工会議所
・東京商工会議所
・UNIRITAユーザー会



健康経営推進と人材教育戦略

働きやすい環境づくりを目指し、法定外残業時間、年次有給休暇取得率、社員定着率の向上・健康経営企業実現に向けた活動を続けています。

【目標④】<u>定期健康診断の完全実施</u>

数値目標: 定期健康診断の受診率 100%。
備考:　　早期発見・早期治療を促し、長く働ける体づくりを支援。

【目標⑤】<u>ストレスチェック（セルフチェック）の活用</u>

数値目標: 年１回ストレスチェック、毎月の心の天気図チェック 受検率100%。
備考:　　メンタル不調を未然に防ぎ、誰もが精神的に満たされた状態で働ける環境作り。

【目標⑥】<u>長時間労働の是正</u>

数値目標: 月間平均残業時間を 20時間以内（または前年比10%削減）にする。
備考:　　過労死や健康障害を防ぐため、半月単位での勤怠チェックとフォロー。

【目標⑦】<u>有給休暇の取得促進</u>

数値目標: 年次有給休暇の取得率 70%以上（年間5日以上の確実な取得率100%）。
備考:　　適切な休息（リフレッシュ）は、心身の健康維持。



ICT活用での業務改善を提案するためのテクニカルスキルと共に、お客様との「信頼関係」を構築するためのヒューマンスキル(人間力)についても積極的に社内で教育を行い、技術力と人間力を兼ね備えた質の高い人材育成を目指します。

【目標⑧】<u>全従業員への教育徹底</u>

数値目標: セルフエスティーム研修の受講率100%（正社員・契約・パート含む）。
備考:　　コミュニケーション文化の醸成、働きがい向上

数値目標: 情報セキュリティおよびプライバシー保護に関する教育受講率 100%、理解度テスト合格率 100%。
備考:　　様々な情報資産・デジタルデータを適切に取り扱う知識の醸成。

感染症の流行や大規模災害の発生等の非常時における、従業員の
安全確保、事業継続性の観点からテレワーク(在宅勤務)制度をスタンダードな
働き方として制度化して継続しています。

【目標⑨】テレワーク実施率の維持・向上、時間有休休暇制度の活用

数値目標: 全社的なテレワーク実施率（ハイブリッドを含む）全体利用平均
40%以上を維持する。
時間有休休暇制度（年5日）の利活用向上。

備考: 多様な働き方の実現（働きがい）

省エネルギー・省資源活動(地球温暖化防止)

社内での環境マネジメントシステム(EMS)を確立し、環境にやさしい資材や機器の導入、リサイクル、CO2削減に取り組みます。
・プラスチックなどのごみ分別の徹底
・年間を通じたビジネスカジュアル(クールビズ・ウォームビズ)の導入

【目標⑩】空調管理（クールビズ・ウォームビズ）

数値目標: 夏期（28℃）・冬期（20℃）の空調設定遵守率 100%。

備考: オフィス電力の削減、過度な冷暖房を控える運用ルールを徹底

(従業員のテレワーク勤務推進による環境負荷の軽減)
従業員のテレワーク勤務の推進や、商談・会議のオンライン会議活用により、通勤・出張といった移動に伴うCO2排出の削減に貢献しています。

【目標⑪】オンライン会議の積極利用で出張代替によるCO2削減

数値目標: Web会議ツールの活用により、物理的な移動を伴う出張回数の削減
(前年比10%削減)。

備考: 移動に伴う環境負荷低減に向け、主にMeet、Zoom、Slackハドルなどを
活用することで脱炭素アクションを目指します。